

# 平成28年度 学校評価実施報告書

京都市立旭丘中学校

<p>・個別評価項目の設定及び各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定</p>			
分野	評価項目	(1回目評価を踏まえた) 年度末までの取組	(取組結果を検証する) アンケート項目・ 各種指標
確かな学力	わかる授業の創造	各教科での言語活動の充実 研究授業・公開授業の推進	わかる授業、一人ひとりを大切にした授業の実施
	家庭学習の確立	家庭における計画的な学習の習慣化の定着の推進と発信	家庭における計画的な学習の習慣化
	コミュニケーション能力の育成	感想文・説明文の取組の定着	自分の考えをまとめ説明したりできる
豊かな心	「公共の精神」に基づく態度の育成	道徳教育の推進・あるべき学級集団づくりの推進 や学校行事・生徒会活動などの充実をはかっている	道徳教育の推進や仲間づくりを大切にする学級集団づくりや学校行事や生徒会活動、参加体験型学習の推進
	豊かな人間関係の構築	学級における仲間づくり、教職員との豊かな人間関係づくり	学級における友人ととの関係や教職員との豊かな人間関係
健やかな体	自他を大切にする態度の育成	早寝・早起き・朝ごはん等の推進	早寝・早起き・朝ごはん等の推進と家庭教育力との連携
	健やかな体の育成と体力の向上	体育的行事等の充実と部活動の推進	体育大会や球技大会、部活動の充実
独自の項目	・小中一貫教育の推進 ・情報発信の充実 ・地域との協力関係の推進	HATTコンチネントプラン(小中合同研修会・小学生の授業・部活動体験)の推進や学校HPの充実とPTAメールの配信の実施や旭丘地生連活動の充実と学校運営協議会の推進を行っていく。	HATTへの積極的参加や各取組の推進。学校HPの定期的更新やPTAメールの随時の発信。旭丘地生連活動の活性化と学校運営協議会の取組連携の推進。

・アンケート実施結果、 その他指標の結果について整理	自己評価	
	評価日	平成29年2月
評価者・組織	学校評価委員会	
アンケート結果・ 各種指標結果	分析 (成果と課題)	分析を踏まえた改善策
学習や進路に向けている2年の生徒が50%と低い数字である。  学年が上がるにつれて家庭学習の定着が図れている。  授業の改善などに取り組んでいますが、まだまだ60%の生徒が難しいと感じている。	・言語活動を積極的に取り入れることにより、少しずつではあるが成果が上がっている。「私の主張では自らの意見をしっかりと述べることができている生徒が増えてきた。 ・家庭学習の習慣化をさらに徹底するため、学校でも積み残し課題に取り組ませるなど取組を強化していかたい。  ・文章や資料を読み取り説明したりすることを苦手と感じている生徒が多いので、普段の授業の中で意図的に取組を進めていきたい。 ・家庭学習の習慣化をさらに徹底するため、学校でも積み残し課題に取り組ませるなど取組を強化していかたい。	
道徳の授業を通して、思いやりや優しい心を持つ生徒が増えてきている。また、何事に対しても意欲的に参加できる生徒が増えている。  学校行事等に向けた取組を通して、仲間を大切にすることができる生徒が増えていている。	・思いやりや優しい心を持つ、仲間を大切にする生徒が着実に増えている。道徳の授業の改善やヒューマンタイムの取組成果もあるが、家庭との連携が大きな成果を上げているのではないかと考えられる。 ・生徒主体を意識した取組を心がけている。	・道徳授業や人権学習などの機会だけではなく、あらゆる教育活動の場面を見逃すことなく、指導することを心がけていきたい。 ・HOP活動の充実を目指し、生徒の意欲や創造力を大切にし意識向上をさらに推進していきたい。
しっかり朝食をとれている生徒が多くなっているが、睡眠時間が少ないのが現状である。  ほとんどの生徒が意欲的に体育的行事に参加できている。	・朝食を取らない生徒がまだまだいるので、食教育の充実を進めていきたい。 ・運動が好きな生徒は多いが、体力面で課題は残るので、運動の大切さを訴えていきたい。	・保健委員会等の活動を通して、基本的生活習慣の定着や薬物乱用防止に向けてさらに働きかけ強化していきたい。 ・体育授業や体育的行事の重要性をさらに認識させたい。
年々、校種間の理解が進んできている。また、今年度から主任会(教務・学習指導・生徒指導・人権教育・総合育成支援)を年4回開催し、連携の充実ははかっている。毎日の学校の様子を学校HPで発信している。また、PTAのHPでもPTA活動の発信をしている。	・小中の校種の違いを正確に認識し、理解を深めることに取組を進めている。年に何度も顔を合わせる機会を設け、共通理解をはかっている。 ・討議テーマを特化させた協議等の取組を充実させてることにより、さらに交流を深め9年間の学びを支えていきたい。 ・従前の取組を大切にしながら、時期相応の広報活動に取り組み、学校運営協議会での意見交換をさらに充実させていきたい。	・小中の連携をさらに密にして小中一貫9年間を見据えた取組をしていただけると安心であります。 ・HPを通じた学校の広報活動は新たな工夫を凝らしながら今後も続けてもらいたい。 ・小学校の学校運営協議会との連携も図っていきたい。

学校関係者評価	
評価日	平成29年3月
評価者 (いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
学校関係者による意見	学校運営協議会・ 学校評議員による改善に向けた支援策
・学校評価アンケートなどから改善すべき点を明らかにし、取組を推進してもらいたい。そして、学年の取組でとどまるところなく、必要とされるものは全校体制で取組を進めてもらいたい。	・各学年の課題を明確にし、改善に向けて学校が取り組むべき内容を学校運営協議会として可能な限り支えていただきたい。
→	→
・来校時の挨拶など気持ちはよく接してくれる生徒が多くなってきていている。クリーンデーにも積極的に参加した生徒が多く、今後も続けていくべきである。 ・かがやきミーティングを実施したことにより、中学校と地域の一体感がでてきている	・挨拶等を通して豊かな心が育まれ、つながりのもてる地域を目指していきたい。 ・環境美化部会を中心に、学校の環境整備(かがやく丘など)に最大限協力していきたい。 ・学習環境部会を中心に、かがやきミーティングの充実を図っていきたい。
・部活動などを通して意欲的に取り組んでいる姿勢が受け取れる。今後も日頃の成果を全力で発揮してもらいたい。	・健康な体作りには基本的な生活習慣が基盤となることを様々な場面で広げられるよう、広報活動や研修会の場を持つていきたい。
・小中の連携をさらに密にして小中一貫9年間を見据えた取組をしていただけると安心であります。 ・HPを通じた学校の広報活動は新たな工夫を凝らしながら今後も続けてもらいたい。 ・小学校の学校運営協議会との連携も図っていきたい。	・学校の様々な取組に地域としてどのような関わりができるのか、また、支援できるのかを探りながら、そしてコミュニティを広げるよう取組を推進していきたい。 ・小学校の学校運営協議会との連携も図っていきたい。

## 3 総括・次年度の課題

- ・学力向上に向けて、校内で議論を深めるのはもちろんのこと、保護者の立場からの意見もしっかりと吸収していきたい。
- ・あらゆる教育活動を通して「優しい心」と「思いやりの精神」を大切にできるように三位一体となって見守っていきたい。
- ・子どもたちの基本的生活習慣のさらなる定着が、学力向上に大きく関係することの重要性をあらゆる場面で啓発していきたい。
- ・学校運営協議会を活用した教育活動をさらに充実させ、地域コミュニティを発展させられるようにしていきたい。
- ・生徒会活動の活性化を行い、生徒自身の自己達成感を充実させ、何事にも自信を持って活動できるようにしていきたい。
- ・小中一貫9年間での育みを大切にし、小学校との連携をさらに進めていきたい。